



Daiwa House®
Group

報道関係者各位

N e w s R e l e a s e

2026 年 9 月 8 日

大 和 エ ネ ル ギ ー 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 東 武
大阪市阿倍野区阿倍野筋 1 丁目 1 番 43 号

系統用蓄電所における EPC 事業に本格参入

～初の着工案件として出力 50MW・容量 109MWh の系統用蓄電所に着手～

大和ハウスグループの大和エネルギー株式会社（本社：大阪市阿倍野区、代表取締役社長：東 武）は、2026 年 9 月 8 日、系統用蓄電所における EPC 事業へ本格参入します。

その着工第 1 号として、当社は、ENEOS 株式会社の清水油槽所内の遊休地において、特別高圧系統用蓄電所（出力 50MW、容量 109MWh）の建設工事に関する EPC※1 契約を ENEOS Power 株式会社（以下、「ENEOS Power」）と締結しました。

※1. EPC（Engineering, Procurement and Construction）の略。発電所や蓄電所などのエネルギー設備において、設計（Engineering）、機器調達（Procurement）、建設工事（Construction）を一括して請け負う事業方式。



【特別高圧系統用蓄電所 完成イメージ】

日本政府が定めた「2050 年カーボンニュートラル」に向け、再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の普及が広がっていますが、太陽光や風力による再エネは、季節や天候によって発電量が変動し、再エネの発電量が多い時間帯や、電力需要の少ない時間帯は余剰電力が発生しています。そのため、余剰電力を充電し、必要に応じて放電できる系統用蓄電所は再エネの有効活用と電力需給の安定化を支える社会インフラとして注目が集まっています。一般社団法人日本電機工業会「JEMA 蓄電システム自主統計 2025 年度出荷実績」によると、蓄電システム出荷容量は、2015 年度には 242,398kWh でしたが、2025 年度には 1,545,250kWh と拡大するとともに、平均容量も 8.84kWh から 10.06kWh まで大型化しています。

こうした中、当社は再エネのさらなる導入拡大と電力供給の安定化に寄与するべく、増加する系統用蓄電所の需要に対応するため、系統用蓄電所における EPC 事業を開始することとしました。

その着工第 1 号となる本件は、ENEOS Power が全国で推進する蓄電所開発プロジェクトの一環として実施されるものです。今回当社は、安全管理体制を構築し、特高変電設備、蓄電池、パワーコンディショナなどの設備の調達から、設計、施工まで一貫して担います。2027 年 1 月に着工し、2028 年度内の竣工を予定しています。

今後、当社は EPC 事業者として 329 件、344MW（2026 年 8 月 1 日時点）の太陽光発電所建設を通じて培った技術力やプロジェクトマネジメント力を活かし、新たな案件の提案や施工に活かすことで、蓄電インフラ分野における事業展開を進めてまいります。

また、「省エネ・再エネ・蓄エネ」を組み合わせたエネルギーソリューションの提供を強化し、再エネの有効活用と電力インフラの安定化に貢献してまいります。

【大和エネルギーについて】

本社所在地：大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1番43号 あべのハルカス33階

代表者：代表取締役社長 東 武

会社URL：<https://www.daiwa-energy.com/>

事業内容：再エネに関する事業及び設計施工、省エネルギーに関する事業及び設計施工 ほか

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
大和エネルギー株式会社 ソリューション事業部 系統蓄電所建設グループ TEL：06-4703-3208 Email： info@daiwaenergy.jp